

四半期報告書

(第44期第1四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

シンポ株式会社

名古屋市名東区若葉台110番地

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 3
- (2) 新株予約権等の状況 3
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 3
- (4) ライツプランの内容 3
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 3
- (6) 大株主の状況 3
- (7) 議決権の状況 4

2 役員の状況 4

第4 経理の状況 5

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 6
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

- 第1 四半期連結累計期間 8

四半期連結包括利益計算書

- 第1 四半期連結累計期間 9

2 その他 11

第二部 提出会社の保証会社等の情報 12

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第44期第1四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	シンポ株式会社
【英訳名】	SHINPO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 利明
【本店の所在の場所】	名古屋市名東区若葉台110番地
【電話番号】	052（776）2231
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 水野 泰彦
【最寄りの連絡場所】	名古屋市名東区若葉台110番地
【電話番号】	052（776）2231
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 水野 泰彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第1四半期 連結累計期間	第44期 第1四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成25年 6月30日
売上高（千円）	563,519	877,621	3,044,872
経常利益（千円）	11,257	116,855	254,459
四半期（当期）純利益（千円）	1,412	59,733	111,176
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	△7,299	64,742	229,551
純資産額（千円）	2,290,569	2,535,563	2,527,420
総資産額（千円）	2,995,287	3,273,684	3,373,742
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	0.25	10.55	19.64
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（%）	76.5	77.5	74.9

- （注） 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融緩和や、政府の経済政策により景感の改善が見られ、個人消費にも一部明るさが見えるようになりました。一方、円安に伴い輸入原材料や原油等のエネルギーコストが上昇し一部商品や製品及び電気代等の値上げが実施され、経営環境といたしましては、プラス面・マイナス面が並存する状況が続きました。

当社グループの主要マーケットである焼肉業界は、消費者マインドの改善、牛肉離れの解消など徐々に明るい兆しが見えてまいりました。

このような状況下で、当社グループは、お客様に対して積極的な店舗展開や店舗改装の提案を実施し、販売強化に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は877百万円（前年同期比55.7%増）となりました。また、利益面につきましては増収の結果、営業利益は115百万円（前年同期は8百万円の利益）、経常利益は116百万円（前年同期比938.0%増）、四半期純利益は59百万円（前年同期は1百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態の分析

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,273百万円となり、前連結会計年度末と比較して100百万円減少しました。

この主な要因は、受取手形及び売掛金が102百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、738百万円となり、前連結会計年度末と比較して108百万円減少しました。

この主な要因は、短期借入金が30百万円、その他流動負債が88百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,535百万円となり、前連結会計年度末と比較して8百万円増加しました。

この主な要因は、剰余金の配当が56百万円ありましたが、四半期純利益59百万円の計上があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、12百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,775,000
計	14,775,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	6,140,850	同左	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,140,850	同左	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	6,140,850	—	639,307	—	595,887

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 480,800	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,659,000	56,590	—
単元未満株式	普通株式 1,050	—	—
発行済株式総数	6,140,850	—	—
総株主の議決権	—	56,590	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
シンポ㈱	名古屋市名東区若葉台 110番地	480,800	—	480,800	7.83
計	—	480,800	—	480,800	7.83

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は、480,822株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,478,652	1,459,516
受取手形及び売掛金	401,034	298,881
商品及び製品	44,702	37,032
仕掛品	30,217	38,637
原材料及び貯蔵品	160,323	169,753
その他	30,337	30,241
流動資産合計	2,145,268	2,034,062
固定資産		
有形固定資産		
土地	461,679	461,679
その他(純額)	186,866	192,030
有形固定資産合計	648,545	653,709
無形固定資産		
投資その他の資産	6,823	6,572
投資有価証券	432,881	440,186
その他	158,804	157,732
貸倒引当金	△18,581	△18,578
投資その他の資産合計	573,105	579,340
固定資産合計	1,228,474	1,239,622
資産合計	3,373,742	3,273,684
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,687	74,023
短期借入金	220,000	190,000
未払法人税等	69,181	56,397
引当金	29,820	37,850
その他	323,753	235,335
流動負債合計	714,443	593,606
固定負債		
役員退職慰労引当金	50,610	52,166
その他の引当金	16,205	18,043
その他	65,063	74,304
固定負債合計	131,878	144,514
負債合計	846,321	738,121

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	639,307	639,307
資本剰余金	595,887	595,887
利益剰余金	1,426,442	1,429,575
自己株式	△188,103	△188,103
株主資本合計	2,473,533	2,476,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,175	47,894
為替換算調整勘定	8,711	11,001
その他の包括利益累計額合計	53,887	58,896
純資産合計	2,527,420	2,535,563
負債純資産合計	3,373,742	3,273,684

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	563,519	877,621
売上原価	343,301	534,704
売上総利益	220,217	342,916
販売費及び一般管理費	212,206	227,270
営業利益	8,011	115,646
営業外収益		
受取利息	114	108
受取配当金	278	770
受取賃貸料	2,225	2,394
為替差益	1,581	—
物品売却益	1,447	—
その他	218	71
営業外収益合計	5,865	3,344
営業外費用		
支払利息	756	314
投資事業組合運用損	832	720
不動産賃貸費用	1,030	920
為替差損	—	179
営業外費用合計	2,619	2,134
経常利益	11,257	116,855
特別損失		
投資有価証券売却損	2,404	—
特別損失合計	2,404	—
税金等調整前四半期純利益	8,852	116,855
法人税等	7,440	57,121
少数株主損益調整前四半期純利益	1,412	59,733
四半期純利益	1,412	59,733

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,412	59,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,687	2,719
為替換算調整勘定	△2,024	2,289
その他の包括利益合計	△8,712	5,008
四半期包括利益	△7,299	64,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,299	64,742
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	4,769千円	6,589千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 定時株主総会	普通株式	39,620	7.00	平成24年6月30日	平成24年9月24日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月20日 定時株主総会	普通株式	56,600	10.00	平成25年6月30日	平成25年9月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

当社グループは、無煙ロースターの製造販売及びその附帯工事を内容とした事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	0円25銭	10円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	1,412	59,733
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	1,412	59,733
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,660	5,660

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

シンポ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 賢次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岸田 好彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシンポ株式会社の平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、シンポ株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【会社名】	シンポ株式会社
【英訳名】	SHINPO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 利明
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	名古屋市名東区若葉台110番地
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番地1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長田中利明は、当社の第44期第1四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。